

アジア気候リーダーシンポジウム ～持続可能な低炭素社会の実現に向けて～

2010年12月10日(金) 10:00～12:10 コンラッド東京「風波」の間
主催: 日本気候リーダーズ・パートナーシップ(Japan-CLP)、後援: 環境省・経済産業省

プログラム

10:00～10:10 開会のご挨拶

株式会社大林組 取締役専務執行役員 三輪 昭尚 氏

10:10～10:25 「日本気候リーダーズ・パートナーシップ(Japan-CLP)のご紹介」

株式会社リコー 顧問 酒井 清 氏

10:25～10:40 「韓国企業の実践紹介」

サムスン地球環境研究所 シニアリサーチャー ジーフアン・キム氏

10:40～10:55 「香港企業の実践紹介」

キャセイ・パシフィック航空 環境部マネジャー ジャニス・ラオ氏

10:55～12:00 パネルディスカッション

「気候変動問題への貢献と、成長するアジア市場におけるビジネスの発展を企業はどのように両立すべきか」

ソンウック・ホン氏 (気候変動センター/韓国CCBF事務局 リサーチャー)

ジャニス・ラオ氏 (キャセイ・パシフィック航空 環境部マネジャー)

アイヴァン・ホアン氏 (華為技術有限公司 インダストリー・デベロップメント戦略 戦略・マーケティング部 ディレクター)

泊 健守 氏 (イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部部長)

村木 満 氏 (東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部部長 CSR室長)

モデレーター: 脇阪 順雄 氏 (SAPジャパン株式会社 バイスプレジデント インダストリー戦略本部 兼 バリューエンジニアリング本部 本部長)

12:00～12:10 閉会のご挨拶

富士通株式会社 常務理事 環境本部 本部長 高橋 淳久 氏



韓国CCBF(Climate Change Business Forum)は、低炭素経済への移行と気候変動問題への取り組みを進めるグローバルビジネスリーダー団体として2009年に発足。サムソン電子、ヒュンダイグループなど33社が参加し、気候変動センターが事務局を務める。政府に対し排出削減目標を含めた強固な気候変動政策を求めると共に、世論の声を高める活動を実施。



香港CCBF(Climate Change Business Forum)は、2008年に発足。気候変動による影響を緩和する為に、香港のビジネスリーダーが主体となり、温室効果ガス削減に関する調査、リスク・機会のコミュニケーション及びベストプラクティスの開示を行っている。Business Environment Councilが主催し、キャセイ・パシフィック航空、HSBCなど23社が参加。

スピーカー プロファイル

(登壇順)

三輪 昭尚氏



(株式会社大林組 取締役専務執行役員)

1974年大林組に入社。2004年に大林USAの取締役社長に就任。2005年6月に大林組執行役員に就く。現在は、東京本社技術本部本部長、原子力本部本部長、情報システムの担当役員を務める。2010年4月に取締役専務執行役員に就任。

酒井 清氏



(株式会社リコー 顧問)

1970年リコーに入社。複写技術開発や画像技術に携わる。経営企画室長、研究開発本部長、画像技術開発本部長を歴任後、2006年に取締役専務執行役員CTO、環境推進、法務・知財担当に就任。2010年6月、顧問に就任。

ジューファン・キム氏



(サムスン地球環境研究所 シニアリサーチャー)

サムングループのサムスン・グリーン・マネジメントの環境方針の策定に携わり、韓国の環境政策導入及び評価にも貢献。2005年にエラスムス大学ロッテルダム(オランダ)において博士号を取得後、産業界における環境スペシャリスト育成に取り組んでいる。

ジャニス・ラオ氏



(キャセイ・パシフィック航空 環境部マネジャー)

キャセイ・パシフィック航空においてカーボン・オフセット・プログラム、EU域内排出量取引制度の遵守等のサステナビリティ及び環境イニシアティブを担当。前職ではロンドンのカーボンマーケットにおいてCDM/JI及びVERプロジェクト開発に携わる。また、アジアパシフィック、ヨーロッパ、アフリカ、及びラテンアメリカにおけるサステナビリティ、影響アセスメント、監査等のコンサルティング業務にも従事。

ソンウック・ホン氏



(気候変動センター／韓国CCBF事務局 リサーチャー)

強固な気候変動政策と世論形成を目指す企業ネットワークである韓国CCBFの事務局として、産業界、政府、NGO等と気候変動に関する共同調査を実施。また、韓国の市民社会に対して気候変動問題の教育・啓蒙活動を手がけている。

アイヴァン・ホアン氏



(華為技術有限公司 インダストリー開発戦略 戦略・マーケティング部 ディレクター)

2001年に入社後、アフターサービス・エンジニア、セールス・マネージャー、マーケティング・ディレクターを歴任、現在はクロスセクターにおけるグリーン戦略に取り組んでいる。華為におけるコーポレート・グリーン・ワークグループのメンバーであり、世界経済会議やGlobal e-Sustainability Initiative等の国際会議に積極的に参加。

泊 健守氏



(イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長)

大学卒業後、イオンに入社しアパレルのバイヤー、秘書、人事を歴任。2008年に環境部門の責任者となるが、これまでの社内外のネットワークをフルに活用し業務を推進。環境の仕事は、「熱い想い」、「協調性」、「共感性」が重要であることを痛感。現在では家庭でもエコアクティブコンシューマーを自ら実践。

村木 満氏



(東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部 部長 兼 CSR室長)

1982年東京海上火災保険株式会社入社。1990年米国ピッツバーグ大学においてMBAを取得。ニューヨーク駐在員、経営企画部計画推進グループ課長、ミレアホールディングス(現東京海上ホールディングス株式会社)経営企画部広報・IRグループリーダーを経て、2005年7月から現職。2009年7月から東京海上ホールディングス経営企画部CSR室創設とともに同部部長兼CSR室長を兼務。

脇阪 順雄氏



(SAPジャパン株式会社 バイスプレジデント インダストリー戦略本部 兼 バリューエンジニアリング本部 本部長)

インダストリー戦略本部、及びバリューエンジニアリング本部長としてインダストリーへのインサイトと顧客に対する価値提供を行うチームをリード。サステナビリティ推進室を兼務し、顧客のサステナビリティに対するソリューション提供のみならず、自社のサステナビリティ戦略を推進、戦略的なカーボン削減目標の達成を目指す。

高橋 淳久氏



(富士通株式会社 常務理事 環境本部 本部長)

富士通グループにおけるグローバルな環境活動と環境戦略の立案を総括。現在、富士通グループの事業活動における徹底した環境負荷の低減に加え、グリーンICTの提供によるお客様・社会全体の環境負荷低減に注力。またICTの活用による生物多様性の保全を推進し、低炭素で豊かな社会づくりへの貢献を目指す。

